

2015/05/07

## 2014 年度研究大会パネル公募の審査結果について

国際法学会研究企画委員会

2014 年度研究大会のパネル公募にご応募いただきありがとうございました。

研究企画委員会における厳正な審査の結果、設置をお願いすることになったパネルは、以下の通りです。

いずれも 9 月 21 日（日）午後の公募分科会（14 時 15 分～17 時 30 分）での報告となります。

### 分科会 B（パネル公募）「武力紛争時における *jus ad bellum* の現代的機能

#### —冷戦後の安保理決議の役割—

企画責任者	早稲田大学教授	萬歳 寛之
座長	法政大学教授	森田 章夫

1. 「非国家主体に対する武力紛争における *jus ad bellum* の継続適用と安保理決議の機能  
—アフガニスタンの事例を中心として—」 東京国際大学専任講師 根本 和幸
2. 「安保理の武力行使容認決議による敵対行為の制限 —リビア空爆を中心として—」  
早稲田大学研究生 尋木 真也
3. 「紛争後の国家再建における安保理決議の機能と占領法規との関係  
—イラク占領を中心として—」 早稲田大学助手 広見 正行

### 分科会 C（パネル公募）「グローバル・ガヴァナンスと国際不法行為法の位相」

- |       |         |      |
|-------|---------|------|
| 企画責任者 | 同志社大学教授 | 高杉 直 |
| 座長    | 名古屋大学教授 | 横溝 大 |
1. 「外国人不法行為法とキオベル事件」 東北大学助教 木村 元
  2. 「米国における国際不法行為法」 同志社大学教授 高杉 直
  3. 「『不法行為』の国際裁判管轄と救済」 京都女子大学専任講師 的場 朝子
  4. 「涉外不法行為における法廷地法の累積的適用」 首都大学東京准教授 種村 佑介

以上